



## 昭和八年製品回顧

顧みれば昭和八年は實に凡ゆる方面に多事多難の歳で有りました。長い歳月に渉る事業界の萎靡不振、失業者の激増、沈滞の裡に呻吟せしめられた吾々も滿洲事變の解決、吾が國の國際聯盟脱退の聲明、非常時日本と神經を彌やが上にも興奮せしめられる様になつた。然し

滿洲上海兩事變の影響と一九三六年の所謂國際危險線に備へんが爲めの軍備の擴張による軍需品の殺倒は俄然吾が日本の工業界に劃期的の躍進をもたらして來た。

各種事業の勃興、新設と増産の波は實に物凄い勢を以て渦を巻き、大小工業都市の空は工場の煤煙を以て覆ひ盡されたかの感が有ります。

國防工業の聲は凡ゆる産業界に衝動を與え、此處に所謂非常時日本の興奮と活況との交錯した一現象を實現せしむるに至つたので有ります。

吾が製品に於ても直接、間接に之が影響を受け日夜工場は全能力を擧げて活動を續けてゐます。殊に昨年九月一日は吾が創立滿十周年の紀念に相當して居ります。毎年本誌新年號に前年度製品の回顧録を掲載する事が慣しになつて居りますが特に當社創立十周年を迎えたる紀念すべき昭和八年の製品に就いて回顧をすると云ふ事は本年度のより以上の研鑽、努力、新方針樹立の資に供するばかりで無く、更らに意義深きものが有らうと信じます。



\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。